



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 理想科学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 6413 URL <https://www.riso.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 羽山 明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 成宮 慶臣 TEL 03-5441-6611
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	57,087	7.8	4,275	33.7	4,572	23.9	2,699	△5.0
2024年3月期第3四半期	52,955	0.0	3,197	△11.8	3,691	△2.1	2,842	0.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,585百万円 (△10.4%) 2024年3月期第3四半期 4,001百万円 (13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	41.35	—
2024年3月期第3四半期	42.68	—

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	88,692	65,493	73.8
2024年3月期	88,628	66,893	75.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 65,493百万円 2024年3月期 66,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,500	7.9	6,500	23.7	6,600	6.4	4,200	△13.1	64.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 理想テクノロジーズ株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	72,000,000株	2024年3月期	72,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	7,306,916株	2024年3月期	6,300,796株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	65,290,553株	2024年3月期3Q	66,606,061株

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(その他特記事項)

当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、2025年3月期を最終年度とした第八次中期経営計画（RISO Vision 25）を策定し、『インクジェット事業を拡大するとともに顧客志向に基づく販売企画体制を構築する』を中期的な経営目標に掲げて運営しております。

当第3四半期連結累計期間においては、2024年7月1日から東芝テック株式会社より承継したインクジェットヘッド事業を当社グループに加え運営しております。

また、当第2四半期から報告セグメント「印刷機器関連事業」を新設しました。「印刷機器関連事業」には、これまでの「印刷機器事業」と7月から運営を開始した「インクジェットヘッド事業」を含みます。

当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期と比べ売上高は増収、営業利益は増益となりました。為替が前年同期に比べ円安に推移したことと、印刷機器関連事業の販売が堅調に推移したことによるものです。親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社連結子会社である理想（中国）科学工業有限公司における構造改革費用として4億9千6百万円を特別損失に計上したことからの減益となりました。

売上高は570億8千7百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は42億7千5百万円（同33.7%増）、経常利益は45億7千2百万円（同23.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億9千9百万円（同5.0%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1米ドル152.57円（前年同期比9.28円の円安）、1ユーロ164.83円（同9.54円の円安）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

・印刷機器関連事業

当社グループは、印刷機器関連事業として、「印刷機器事業」と「インクジェットヘッド事業」を行っております。このうち「印刷機器事業」では、高速インクジェットプリンター「オフィス」を主としたインクジェット事業とデジタル印刷機「リソグラフ」を主とした孔版事業を行っております。

印刷機器関連事業は、当第3四半期連結累計期間において、売上高は557億9千9百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は40億4千1百万円（同47.1%増）と前年同期と比べ増収増益となりました。日本では、前年同期は消耗品の価格改定に伴う前倒し需要の反動により販売が減少しましたが、当第3四半期連結累計期間においてはその影響がないため売上が前年同期を上回りました。海外では為替の円安影響により、売上が前年同期を上回りました。また、2024年7月から運営を開始したインクジェットヘッド事業が売上高を押し上げました。前年同期にあった日本での前倒し需要に伴う反動減、インクジェットヘッド事業の開始、為替の影響を除くと、当第3四半期連結累計期間は概ね前年同期並みの結果となりました。

日本の売上高は255億9千6百万円（同8.1%増）、海外の売上高は302億2百万円（同7.9%増）となりました。

・不動産事業

当社グループは、不動産事業として、ビルの賃貸等を行っております。

不動産事業の売上高は、7億7千3百万円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益は4億9千5百万円（同14.4%減）となりました。

・その他

当社グループは、上記の報告セグメントの他、プリントクリエイティブ事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等を行っております。

その他の売上高は、5億1千5百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント損失は2億6千万円（前年同期は1億2千7百万円のセグメント損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

総資産は6千4百万円増加し886億9千2百万円となりました。また、純資産は13億9千9百万円減少し654億9千3百万円となりました。

主な増減内容は、資産の部では、商品及び製品9億5千9百万円、のれん24億4千3百万円がそれぞれ増加し、現金及び預金51億3千5百万円、受取手形及び売掛金32億7千4百万円がそれぞれ減少しました。負債の部では、短期借入金14億3百万円、長期借入金26億2千4百万円がそれぞれ増加し、支払手形及び買掛金25億2百万円が減少しました。純資産の部では、利益剰余金5億8千5百万円が減少し、自己株式17億円、為替換算調整勘定7億8千7百万円がそれぞれ増加しました。

この結果、自己資本比率は1.6ポイント減少し73.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月1日に公表しました2025年3月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,812	15,677
受取手形及び売掛金	13,999	10,724
有価証券	676	222
商品及び製品	7,848	8,807
仕掛品	828	857
原材料及び貯蔵品	2,485	2,628
その他	2,840	3,211
貸倒引当金	△208	△190
流動資産合計	49,283	41,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,280	23,962
減価償却累計額	△16,271	△16,815
建物及び構築物 (純額)	7,008	7,147
機械装置及び運搬具	7,042	7,560
減価償却累計額	△6,395	△6,586
機械装置及び運搬具 (純額)	647	973
工具、器具及び備品	13,419	13,169
減価償却累計額	△12,889	△12,404
工具、器具及び備品 (純額)	529	764
土地	17,725	17,757
リース資産	295	317
減価償却累計額	△147	△118
リース資産 (純額)	147	199
建設仮勘定	6	636
その他	9,512	9,497
減価償却累計額	△7,577	△7,482
その他 (純額)	1,935	2,015
有形固定資産合計	28,000	29,494
無形固定資産		
のれん	—	2,443
ソフトウェア	1,125	1,345
その他	107	1,994
無形固定資産合計	1,232	5,783
投資その他の資産		
投資有価証券	3,520	3,965
長期貸付金	11	11
繰延税金資産	1,015	1,963
退職給付に係る資産	2,039	2,035
その他	3,534	3,513
貸倒引当金	△9	△13
投資その他の資産合計	10,112	11,476
固定資産合計	39,345	46,754
資産合計	88,628	88,692

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,254	6,751
短期借入金	15	1,418
1年内返済予定の長期借入金	1	376
未払法人税等	834	373
賞与引当金	1,766	1,076
役員賞与引当金	49	63
製品保証引当金	17	24
その他	8,029	8,330
流動負債合計	19,966	18,415
固定負債		
長期借入金	8	2,632
繰延税金負債	34	36
退職給付に係る負債	729	790
その他	995	1,324
固定負債合計	1,769	4,783
負債合計	21,735	23,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	37,410	36,825
自己株式	△5,815	△7,516
株主資本合計	60,489	58,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,709	2,016
為替換算調整勘定	3,108	3,895
退職給付に係る調整累計額	1,585	1,377
その他の包括利益累計額合計	6,403	7,289
純資産合計	66,893	65,493
負債純資産合計	88,628	88,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	52,955	57,087
売上原価	22,245	23,070
売上総利益	30,710	34,017
販売費及び一般管理費	27,512	29,741
営業利益	3,197	4,275
営業外収益		
受取利息	97	184
受取配当金	91	119
為替差益	184	—
その他	160	146
営業外収益合計	535	451
営業外費用		
支払利息	7	35
為替差損	—	64
固定資産除却損	16	16
その他	18	37
営業外費用合計	41	154
経常利益	3,691	4,572
特別利益		
退職給付制度改定益	432	—
特別利益合計	432	—
特別損失		
構造改革費用	—	496
特別損失合計	—	496
税金等調整前四半期純利益	4,124	4,075
法人税等	1,281	1,375
四半期純利益	2,842	2,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,842	2,699

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,842	2,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	519	307
為替換算調整勘定	852	787
退職給付に係る調整額	△212	△208
その他の包括利益合計	1,158	886
四半期包括利益	4,001	3,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,001	3,585
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	印刷機器 事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	51,669	818	52,487	467	—	52,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	—	△0	—
計	51,669	818	52,487	467	△0	52,955
セグメント利益又は損失 (△)	2,747	578	3,325	△127	—	3,197

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他	調整額	合計
	印刷機器 関連事業	不動産事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	55,799	773	56,572	515	—	57,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	—	△0	—
計	55,799	773	56,572	515	△0	57,087
セグメント利益又は損失 (△)	4,041	495	4,536	△260	—	4,275

- (注) 1. 「印刷機器関連事業」には、印刷機器事業及びインクジェットヘッド事業を含んでおります。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントクリエイト事業、デジタルコミュニケーション事業及びアプリケーションソフトウェア事業等を含んでおります。
3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「印刷機器関連事業」セグメントにおいて、当社が新たに設立した子会社である理想テクノロジーズ株式会社が、東芝テック株式会社及び同社の連結子会社である株式会社テックプレジジョンが行っているインクジェットヘッド事業を会社分割 (吸収分割) の方法により承継したことに伴い、中間連結会計期間よりのれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,715百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,699百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が7,516百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,987百万円	2,231百万円
のれん償却額	－百万円	271百万円